きたる5月7日

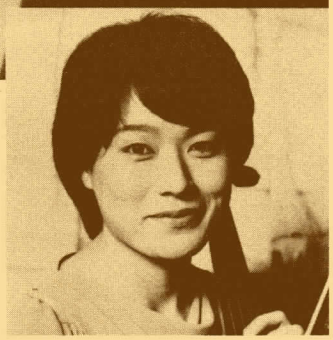
ブラームス生誕150年祭

HAPPY BIRTHDAY JOHANNES

♬日本ブラームス協会〈第68回〉例会♪
♪村谷達也コンダクトリサイタルⅥ♬

この日私たちは、ブラームスを辿り、ブラームスを探り、そしてブラームスを讃えます。

青年は、真摯に生きるならば、人の世の矛盾・葛藤を、あるいは、希望と失望のはざまに揺れ動く己が心を直視することを避けはしまい。
ブラームスは、永遠に〈青年〉だった。彼は、かたちと心の、理知と情念の、憧憬と諦念の、さらにいえば、聖なるものと人間的なるものとの……つまりは、人の避け得られざるアンビバレンスを、勇気ある率直さで五線紙上に語りつづけた芸術家だった。
古典的なかたちと浪漫的な心は、あるときはせめぎ合い、あるときは調和する。しかし、暗黒は一気に光明に導かれない。歓喜と悲哀は間断なく交錯する。微笑みと涙は同一の顔の上に湧く。さいご、諦観に縁どられた安らぎと、人間への深い洞察に基いた優しさが彼の音楽を支配した。

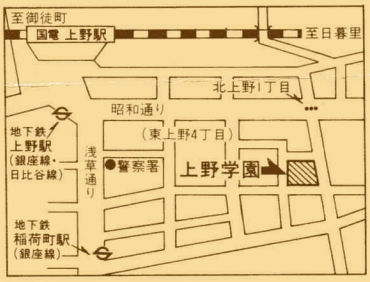


150年祭、おめでとうございます。
例会でもたびたびソナタを演奏させて頂きましたが、私自身ブラームスを深く愛する者でございます。当夜はいっそう心をこめて彼の音楽を讃えたいと存じます。

藤原　真理

"クラシック・ロマンティック"と称せられる、ブラームスの音楽は、即ドイツそのものである。おそらく、ドイツの国と人間とを、最も重厚に、音で語っているのが、ブラームスの芸術である。生誕150年は、ドイツ音楽を、純粋に体験するよい機会となろう。

村田　武雄



1833年5月7日 ヨハネス・ブラームスは、この世に生をうけました。

そして150年後の……

1983年5月7日 ヨハネス・ブラームスは、いまの世に讃美をうけます。

と　　き：1983年5月7日(土) 2:00〜8:30P.M.
と こ ろ：石橋メモリアルホール(上野学園内)
(国電・地下鉄上野駅より徒歩8分、地下鉄稲荷町駅より徒歩6分)

その内容：

第1部 ブラームスを辿る (2:00〜4:30P.M.)
——音楽(演奏を主体とする)で綴る人間ブラームスの一生——

第2部 ブラームスを探る (5:00〜6:30P.M.)
——音楽評論家、演奏家、当会会員による本格ブラームス談義——

第3部 ブラームスを讃える (7:00〜8:30P.M.)
——第一線演奏家による入魂のブラームス演奏——

◀第1部・演奏曲目および演奏者▶
ピアノソナタ 第1番 第1楽章
ピアノ／梅山　秀一
ハンガリー舞曲 第1,5番
ピアノ連弾／武井　俊子
成田知寿子
主題と変奏〈Op.18より〉
ピアノ／岡田　博美
民謡ほか　ソプラノ／竹内　智子
ピアノ／小泉亜紀子
永遠の愛 Op.43-1
ソプラノ／田島　容子
ピアノ／矢野　令子
ヴァイオリンソナタ 第1番 第1楽章
ヴァイオリン／岡田　恵子
ピアノ／青木紀久子
四重唱曲 Op.64-1,2
指揮／村谷　達也
混声合唱／TMカンマーコーア
アルトのための2つの歌 Op.91
アルト／西　明美
ヴィオラ／篠原　訓子
ピアノ／梅山　秀一
ヴィオラソナタ 第1番 第2楽章
ヴィオラ／篠原　訓子
ピアノ／梅山　秀一
8つのジプシーの歌 Op.108 抜粋
ソプラノ／田島　容子
ピアノ／矢野　令子
11のコラール前奏曲 Op.122より4曲
オルガン／谷島　純子

◀第2部・座談会出席者▶
音楽評論家　村田　武雄
音楽評論家　丸山　桂介
合唱指揮者　村谷　達也
ピアニスト　杉谷　昭子
協 会 会 員　八木　勇

◀第3部・演奏曲目および演奏者▶
ワルツ Op.39(全曲)
ピアノ／杉谷　昭子
歌曲：わが愛は緑 Op.63
わがまどろみはいよいよ浅く Op.105
日曜日 Op.47
おお死よ Op.121
五月の夜 Op.43
バス／高橋　修一
ピアノ／高橋　高子
チェロソナタ 第1番 Op.38
チェロ／藤原　真理
ピアノ／秦　はるひ
歌曲：詩篇13番 Op.27
13のカノンより Op.113
3つの二重唱曲より Op.20
4つの二重唱曲より Op.61
5つの二重唱曲より Op.66
合唱指揮／村谷　達也
合唱／ブラームス女声合唱団
ソプラノ／田島　容子
アルト／阪口　直子

※第2部の終わりに、運命の歌 Op.54が村谷達也指揮合唱団により演奏されます。

●第1部演奏曲目は若干変更される場合がありますのでご了承ください。なお、生演奏とは別に、レコード、テープにより代表作数曲をお聴かせ致します。

全自由席¥1,500

お問い合わせ：日本ブラームス協会(代表＝赤岩幸一)
本部：東京都練馬区豊玉南1-18-305 TEL.03-994-4996

なお、この催しはチャリティコンサートとして行なわれます。
後援：ドイツ連邦共和国大使館／日本合唱指揮者協会